ZENRIN

証券コード：9474

2019年3月期
第2四半期決算説明会

2018年11月16日

代表取締役社長	髙山　善司
代表取締役副社長	網田　純也
執行役員コーポレート本部長	戸島　由美子

株式会社 ゼンリン

Maps to the Future

目次

1. 2019年3月期　第2四半期決算概要

2. 2019年3月期　通期業績予想

3. 事業概況

4. Appendix

注）本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

1）決算概要
2）営業利益増減要因
3）売上高・利益の推移
4）中長期経営計画（ZGP2020）で区分した事業別売上高
5）セグメント情報
6）キャッシュ・フロー推移

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1-1）決算概要

2019年3月期 第2四半期決算のポイント

前年同期比＜増収増益＞

■国内カーナビゲーション用データの販売、企業・自治体向け住宅地図データの販売が堅調に推移

業績予想比＜増収増益＞

■売上高は、計上時期の変更（下期からの前倒し等）の影響もあり増収

■増収に伴い外注費・支払手数料などの売上原価が増加したものの、増収効果により利益を確保

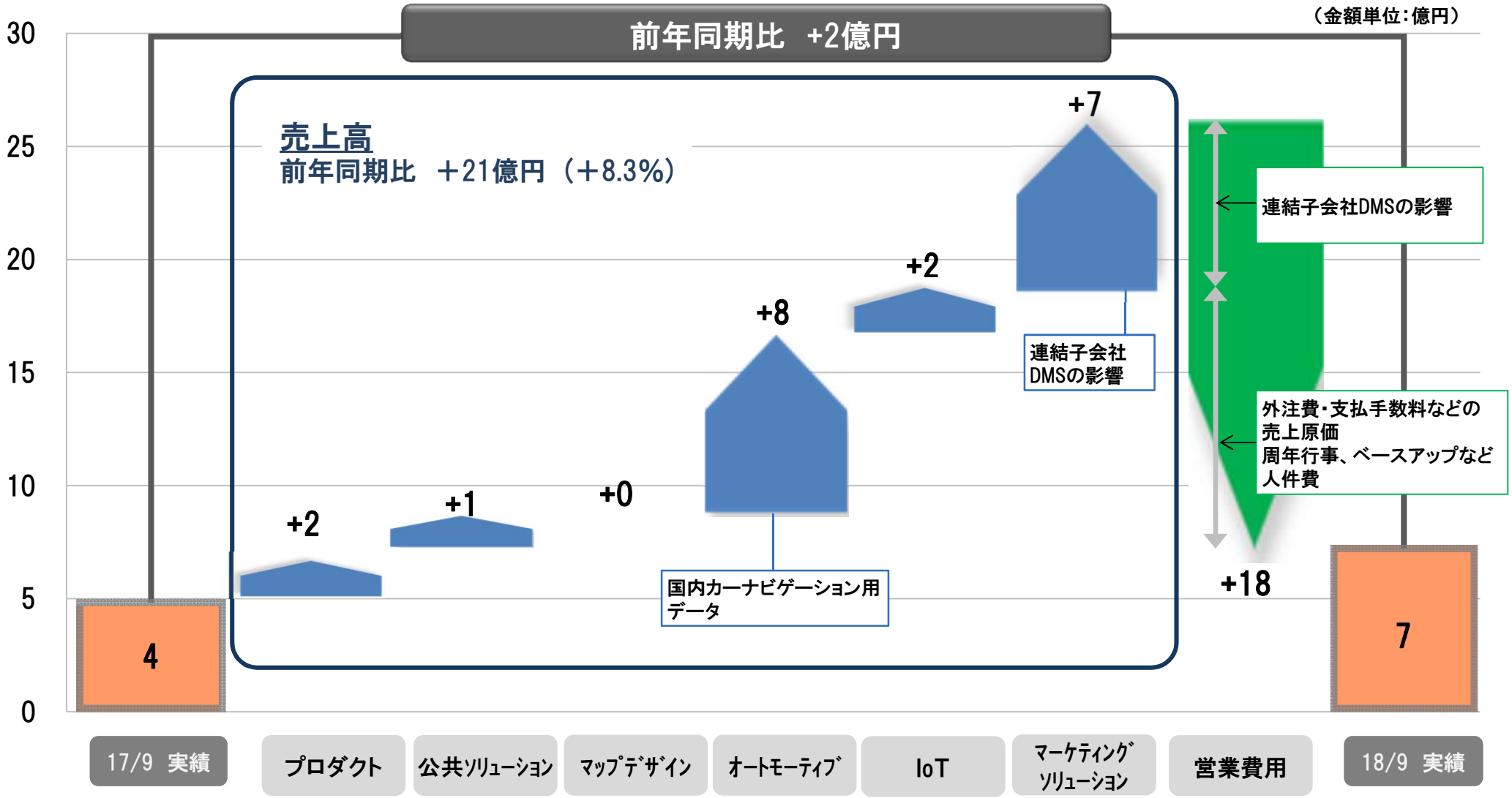
（金額単位：百万円）

	2018年3月期 Q2実績	2019年3月期 Q2業績予想 (4/27)	2019年3月期 Q2修正予想 (10/22)	2019年3月期 Q2実績	前年同期比	増減率 (%)	業績予想比 (4/27)	増減率 (%)	修正予想比 (10/22)	増減率 (%)
売上高	26,016	27,000	28,100	28,168	2,151	8.3	1,168	4.3	68	0.2
営業費用	25,546	27,000	27,370	27,429	1,883	7.4	429	1.6	59	0.2
営業利益 営業利益率	470 1.8%	0 —	730 2.6%	738 2.6%	268 0.8pt	57.0	738 2.6pt	—	8 0.0pt	1.2
経常利益	725	0	970	977	252	34.8	977	—	7	0.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	213	0	580	587	373	175.3	587	—	7	1.3

※10/22公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1-2）営業利益増減要因



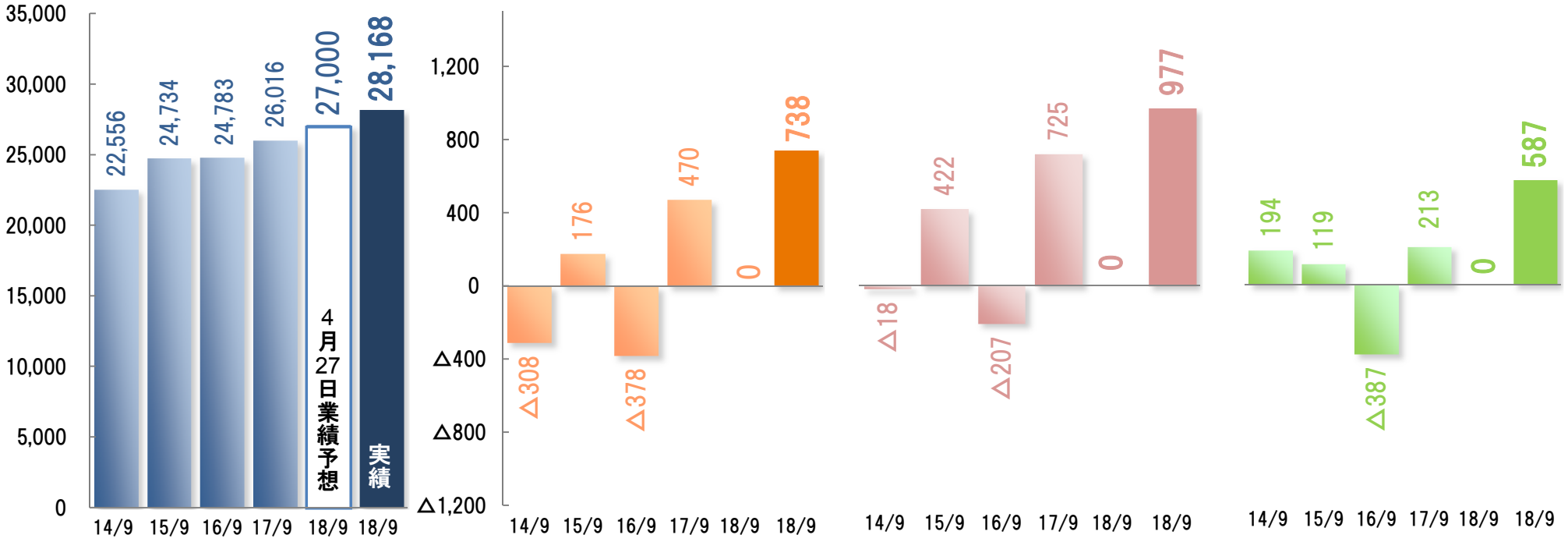
※DMS：大東マーケティングソリューションズ㈱

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1-3）売上高・利益の推移

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前年同期比	2,151増加（+8.3%）	268増加（+57.0%）	252増加（+34.8%）	373増加（+175.3%）
業績予想比（4/27公表）	1,168増加（+4.3%）	738増加（－）	977増加（－）	587増加（－）



4期連続増収（過去最高）

2期連続増益

※10/22公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

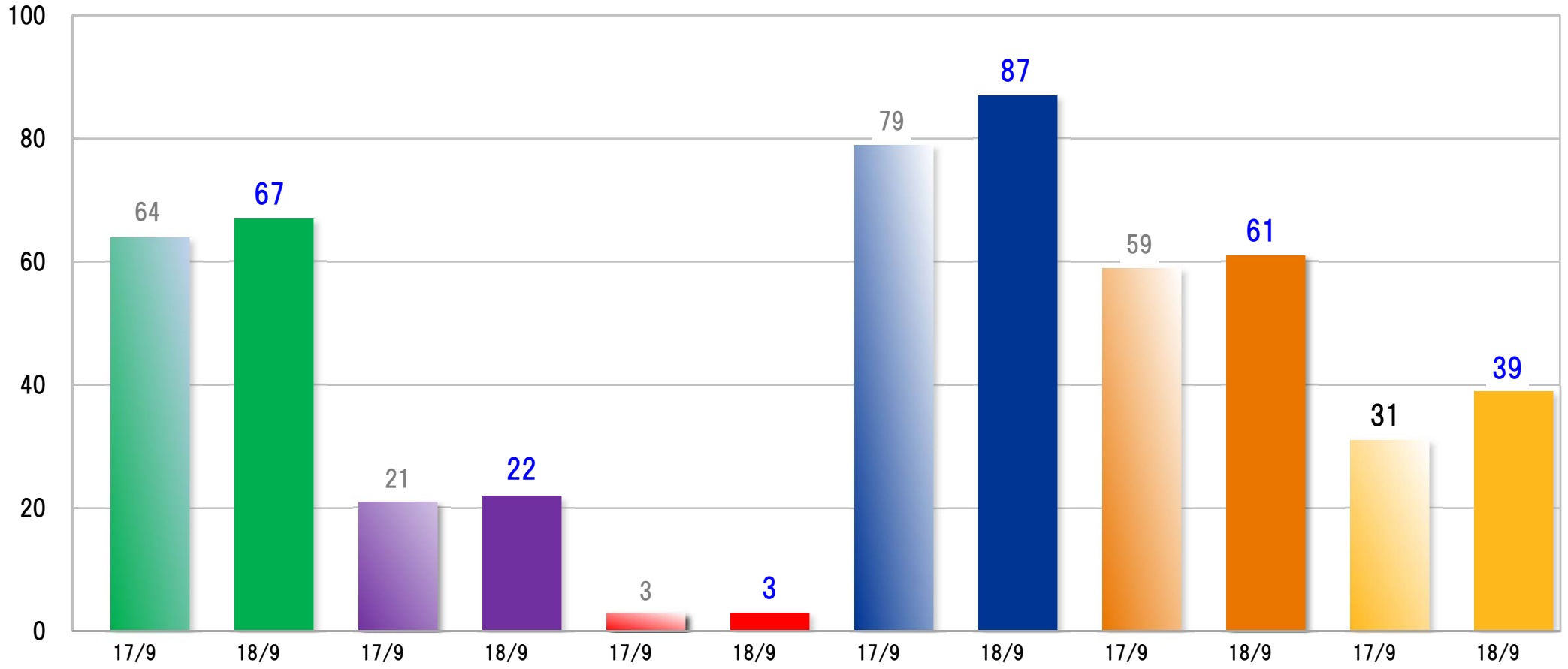
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1-4）中長期経営計画（ZGP2020）で区分した事業別売上高

ZENRIN
Maps to the Future

2019年3月期 第2四半期決算説明会

（金額単位：億円）



前年同期比	プロダクト	公共ソリューション	マップデザイン	オートモーティブ	IoT	マーケティングソリューション
	+2 (+4.0%)	+1 (+6.5%)	+0 (+0.3%)	+8 (+10.1%)	+2 (+3.4%)	+7 (+23.8%)

※2017年9月実績は、旧事業区分から新事業区分への組替数値を使用

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1-5）セグメント情報

売上構成比率

81.5%

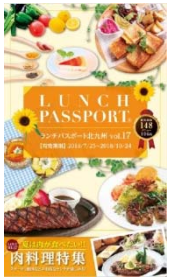
1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等

6.8%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等： 商業印刷



11.7%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ、
マーケティングソリューションの提供

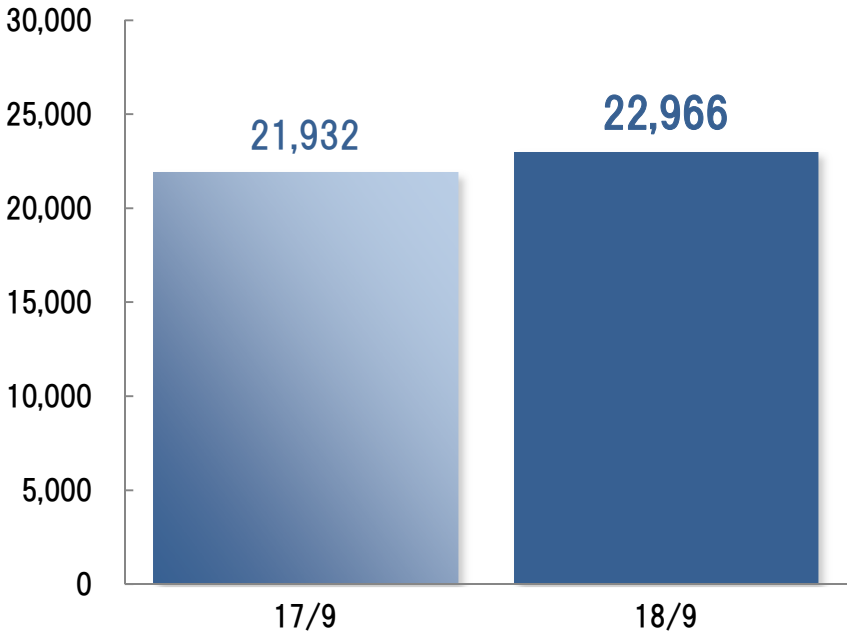
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1-5）地図データベース関連事業

（金額単位：百万円）

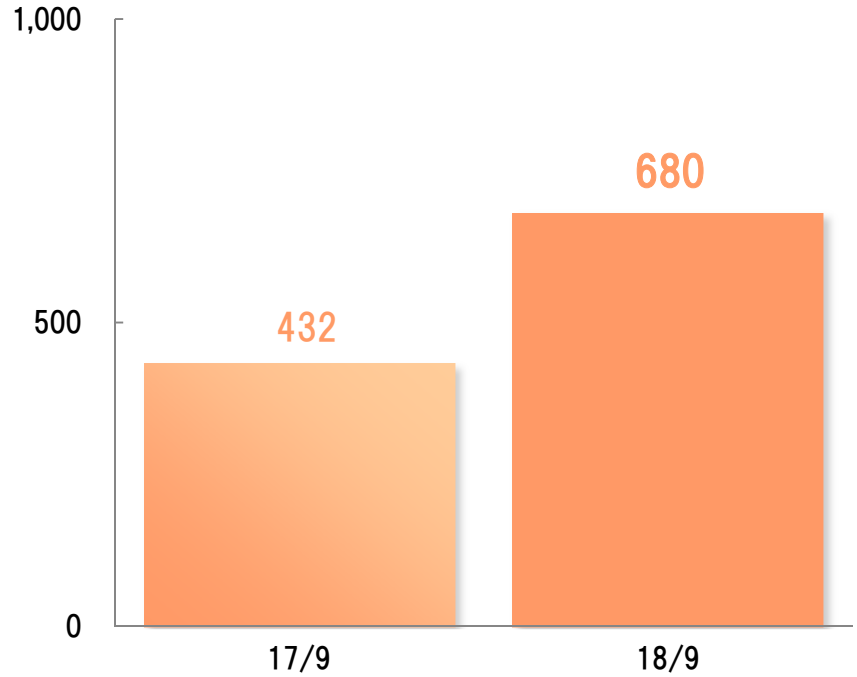
売上高

前年同期比　**1,034増加（+4.7%）**



営業利益

247増加（ +57.3% ）



■ 国内カーナビゲーション用データの販売、企業・自治体向け住宅地図データの販売が堅調に推移
■ 増収に伴い外注費・支払手数料などの売上原価が増加したものの、増収効果により利益を確保

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

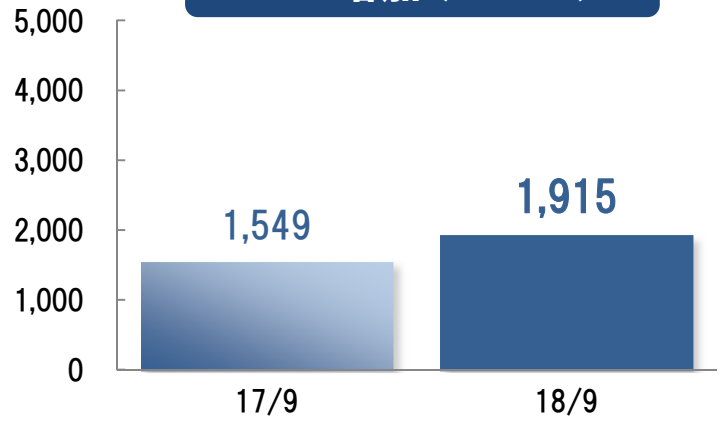
1-5）一般印刷関連事業・その他

（金額単位：百万円）

一般印刷関連事業

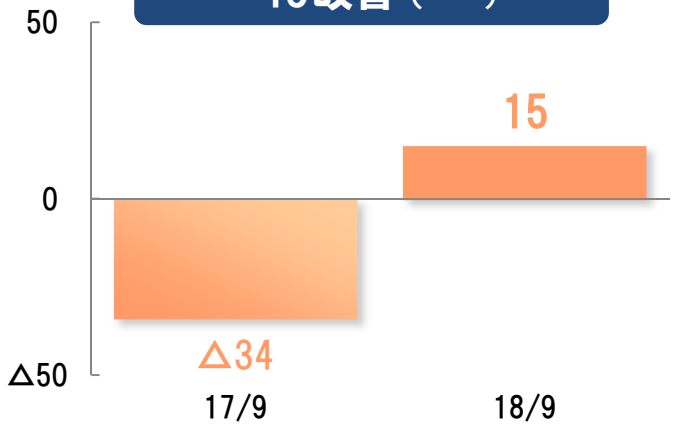
売上高

前年同期比 **366増加（+23.7%）**



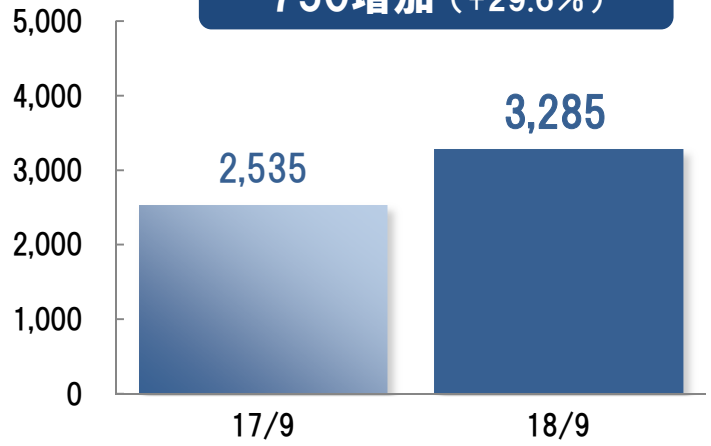
営業利益

49改善（ー）

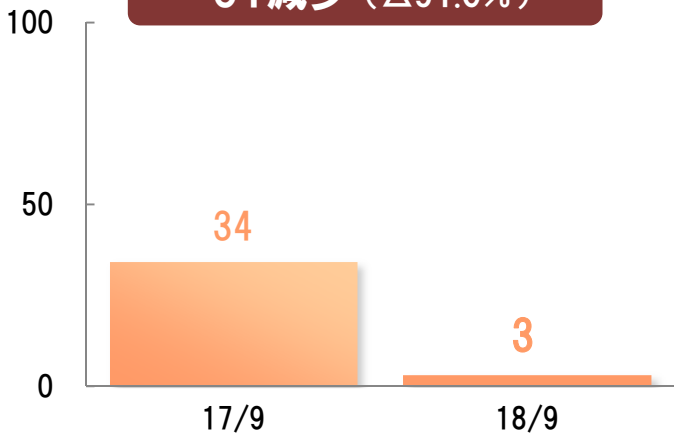


その他

前年同期比 **750増加（+29.6%）**



31減少（△91.0%）



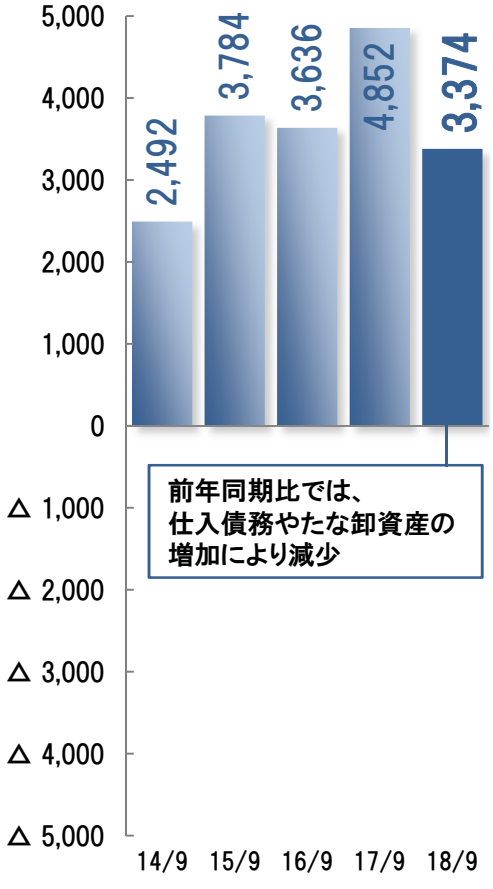
■ 「一般印刷関連事業」「その他」の主な増収要因は、前期第3四半期より新たに連結子会社となった大東マーケティングソリューションズ(株)の影響

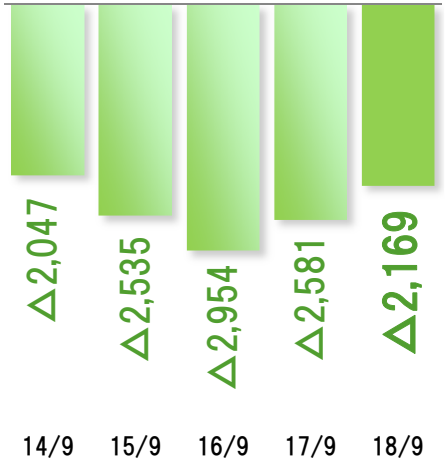
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

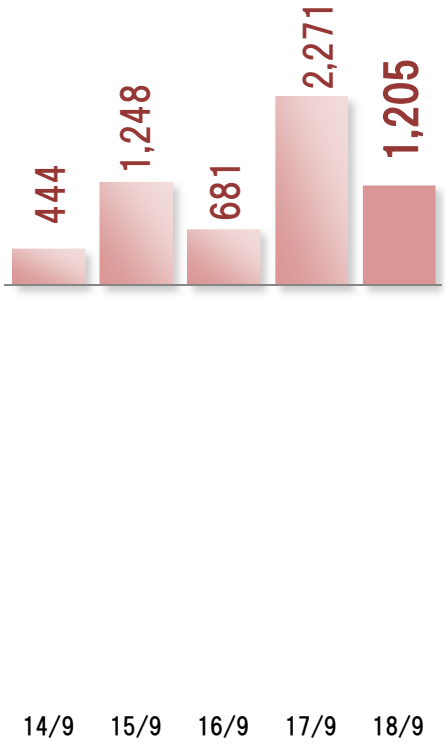
1-6）キャッシュ・フロー推移

（金額単位：百万円）

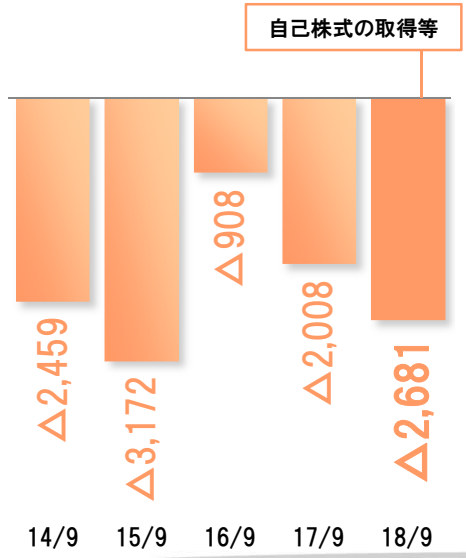
	営業CF	投資CF	フリーCF	財務CF
前年同期比	1,478収入減少	412支出減少	1,065収入減少	673支出増加







フリーCF	1,205
財務CF	△ 2,681
換算差額	△10
現預金減少	△ 1,486
期首現預金	11.542
期末現預金	10,055



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2019年3月期　通期業績予想

1）通期業績予想
（4月27日公表値から変更なし）

2）配当金

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2-1）通期業績予想

2019年3月期 通期業績予想について

現段階においては、2018年4月27日に公表した通期業績予想から変更なし

前期比＜増収増益＞：次期中長期経営計画を見据え、新たな事業区分に基づいた事業戦略再編

■既存ビジネスによる収益確保
■ADAS、IoT、マップデザインなど新規ビジネスの収益化
■時空間情報システムの安定運用と商品開発

（金額単位：百万円）

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	61,332	64,000	2,667	4.3
営業費用	55,890	58,200	2,309	4.1
営業利益 営業利益率	5,441 8.9%	5,800 9.1%	358 0.2pt	6.6
経常利益	5,863	6,200	336	5.7
親会社株主に帰属する当期純利益	3,336	3,700	363	10.9

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2-2) 配当金

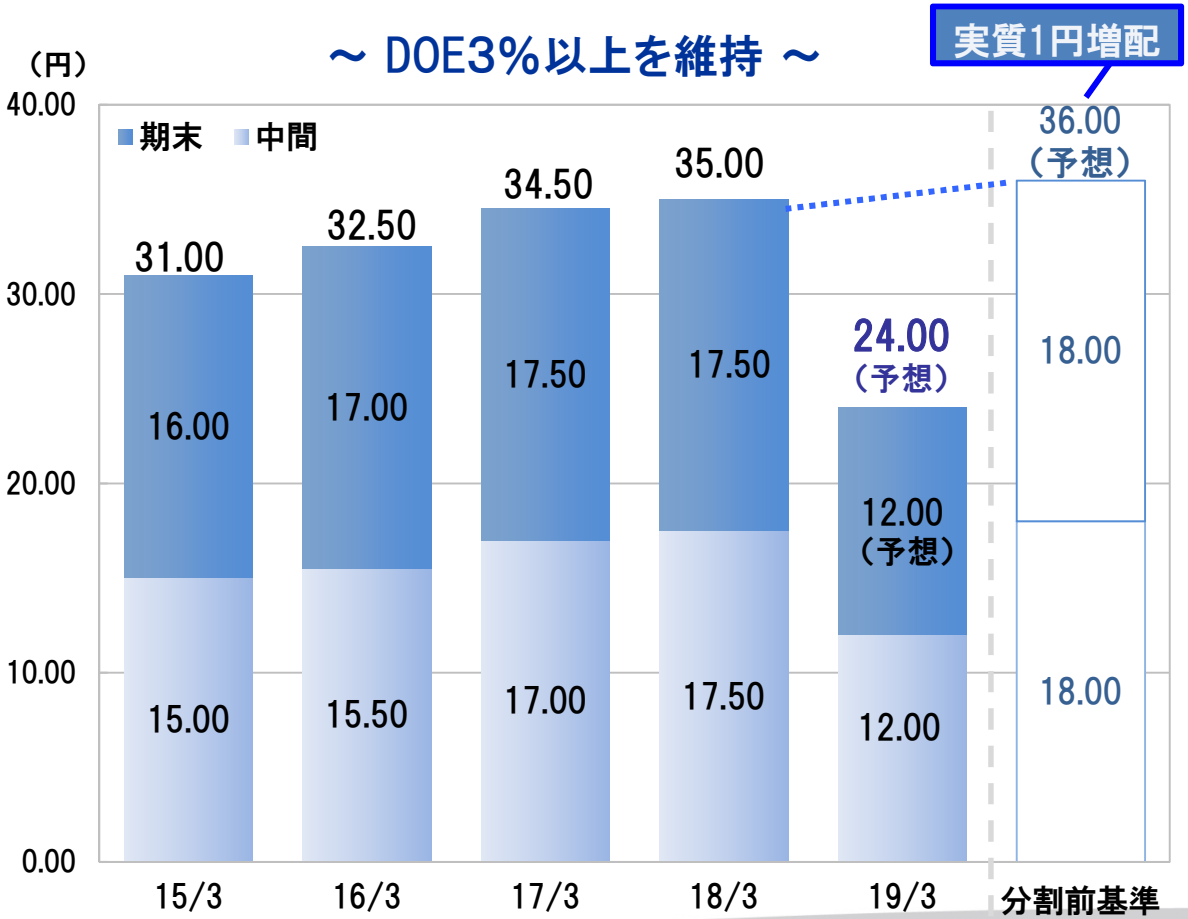
基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施

連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2019年3月期配当金 （株式分割前基準）※	
中間	12円00銭 （18円00銭）
期末（予想）	12円00銭 （18円00銭）
年間（予想）	24円00銭 （36円00銭）

※2018年4月1日付けで、株式分割(1:1.5)を実施



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 事業概況

1） 中長期経営計画（ZGP2020）で区分した事業別売上高

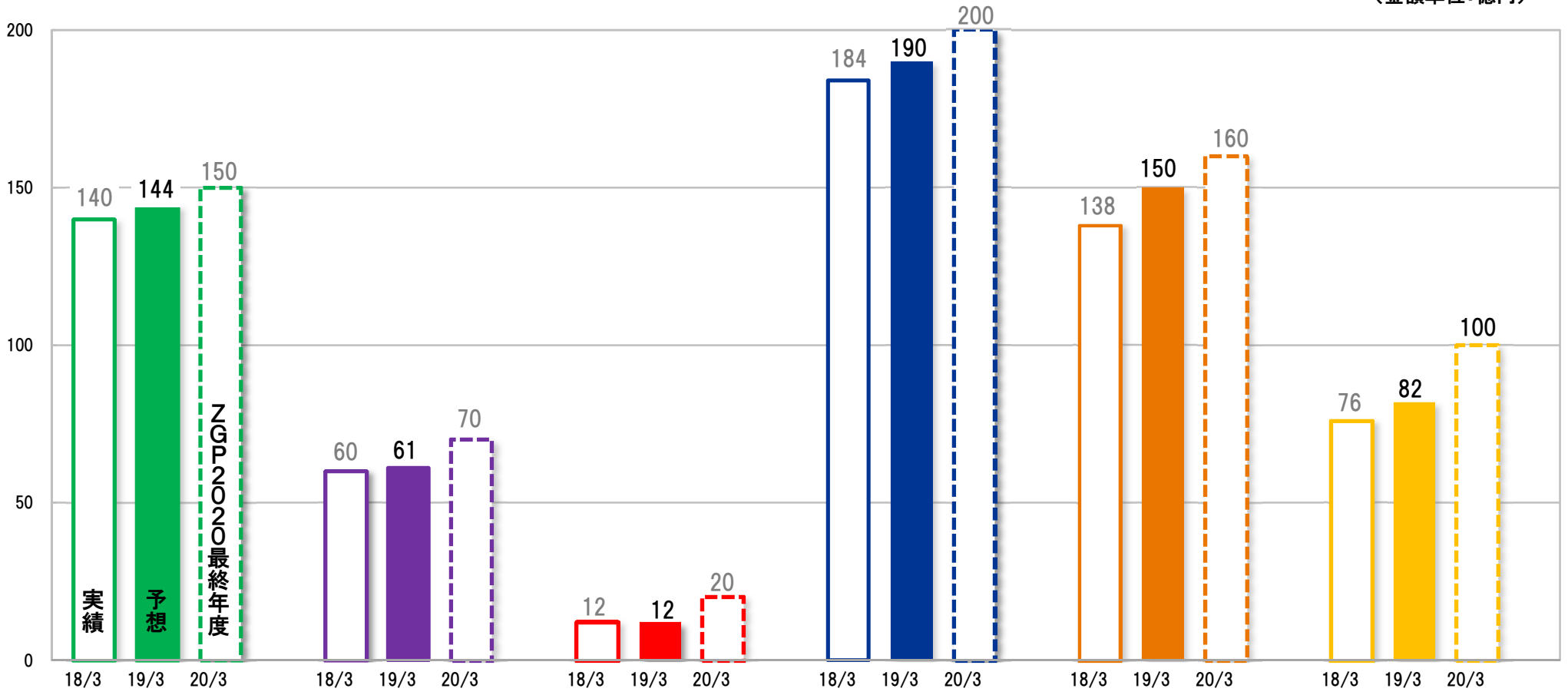
2） ZGP2020事業戦略

・事業別売上高（実績/予想/ZGP2020目標）と重点施策

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-1）中長期経営計画（ZGP2020）で区分した事業別売上高

（金額単位：億円）



18/3 ↓ 19/3	プロダクト	公共ソリューション	マップデザイン	オートモーティブ	IoT	マーケティングソリューション
	+3 (+2.4%)	+0 (+0.1%)	+0 (+2.7%)	+5 (+3.2%)	+11 (+8.2%)	+5 (+7.3%)

※2018年3月期（白抜き棒グラフ）及び2020年3月期（ZGP2020最終年度）は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2)事業別売上高と重点施策

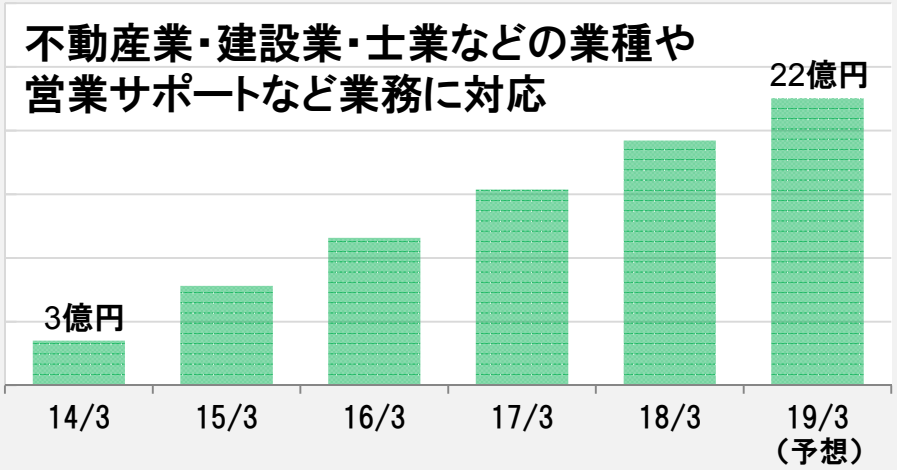
【プロダクト事業】 プロダクトアウトの商品開発で住宅地図DBの価値向上

・主に住宅地図関連商品を利用する事業者に業務効率化や用途に合った商品・サービスを提供
・既存データベース活用により安定収益基盤確保

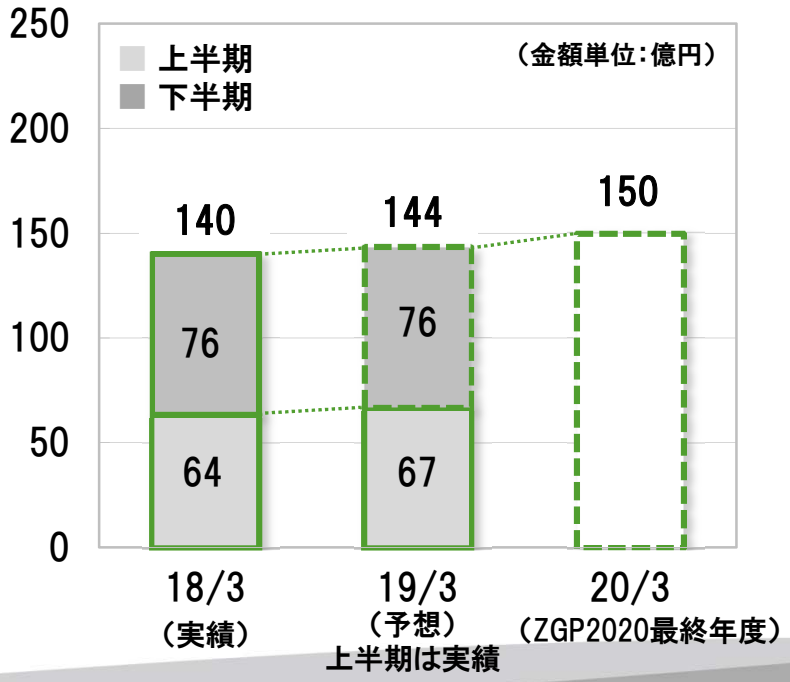
重点施策

用途開発による新商品リリース
ストック型商品の展開による安定収益の確保

GISパッケージ売上高推移



＜第2四半期進捗＞
住宅地図データ配信、GISパッケージ等の
売上が堅調に推移



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2)事業別売上高と重点施策

【公共ソリューション事業】 中央省庁、地方自治体向けの商品・サービス提供で収益拡大

・中央省庁、地方自治体の業務をサポートする商品・サービスを提供
・自治体プラットフォームを確立し売上拡大を図る

重点施策

自治体業務に特化した
専用プラットフォームの確立

自治体向け「ゼンリン住宅地図 LGWAN」

LGWANに対応した住宅地図利用サービス
人口規模/利用台数に応じた月額利用料

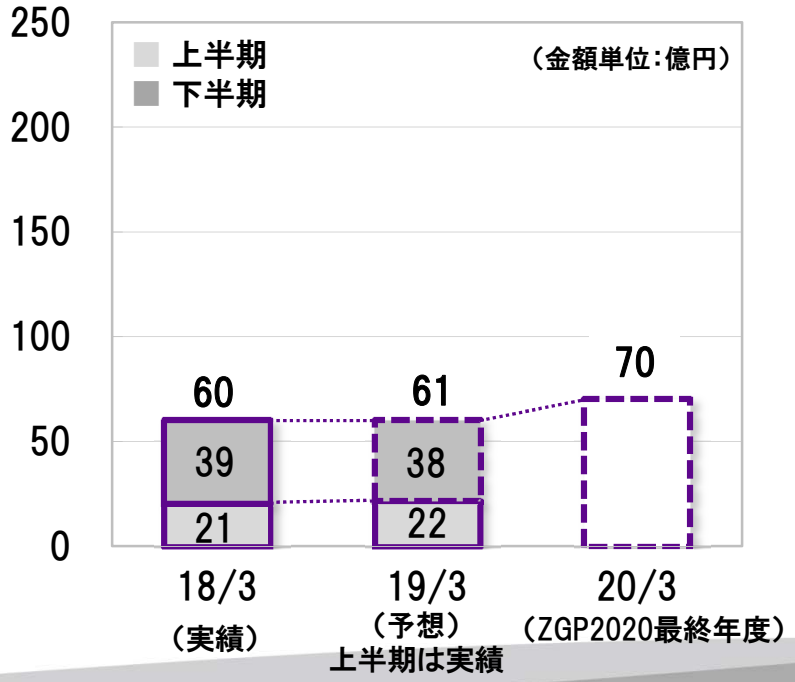
個別業務に対応したオプション機能

業務例		
	防災・減災対策	登下校時の防犯対策

自治体活動をささえる。
ゼンリン
自治体支援プロジェクト
534の自治体様と
災害時支援協定を締結
※2018.10月末現在

自治体との災害時支援協定
534自治体と締結
（2018年10月末現在）

＜第2四半期進捗＞
住宅地図データの販売増加



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2)事業別売上高と重点施策

【マップデザイン事業】 地図が持つ潜在的価値の具現化による事業ドメインの確立

機能的価値だけでなく、感性的価値を重視する消費者に対して、地図を新たなコンセプトで捉えた商品を展開

重点施策

・商品開発により地図の新たな利用機会を創出
・スポーツ・文化イベントでの期間収益の獲得

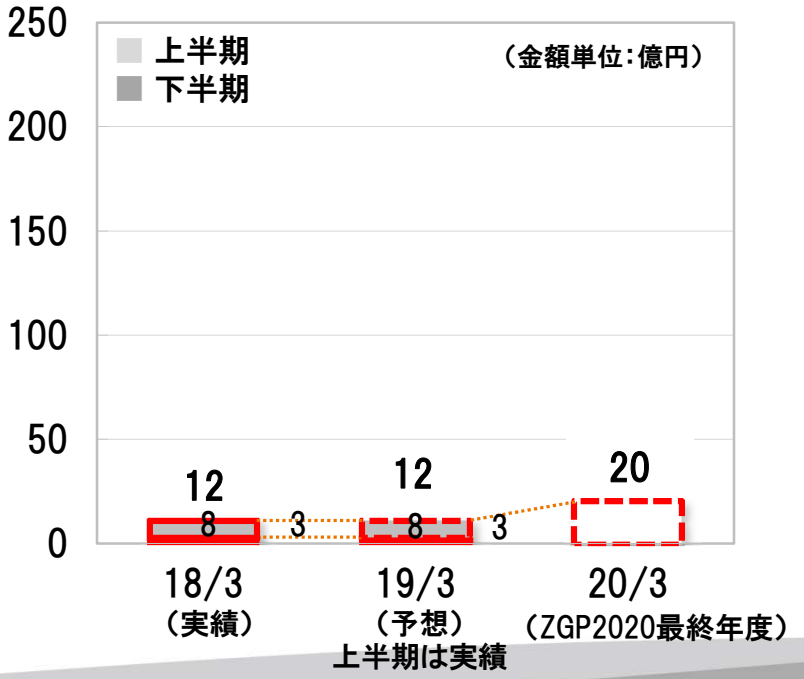
地図ステーショナリー「matimati」シリーズ
累計出荷部数10万部(2018年4月)
【15エリア】
札幌、仙台、丸の内、表参道
吉祥寺、横浜、金沢、名古屋
京都、梅田、なんば、神戸
広島、福岡・天神、那覇

地図データベースを活用した新商品
小学校社会科自由研究キット
「まちたんけんキット」リリース

2017年3月31日文部科学省
新学習指導要領
地理的な見方・考え方の大切さを再認識

＜第2四半期進捗＞

ほぼ前期並みで推移



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2)事業別売上高と重点施策

【オートモーティブ事業】 国内外のナビ関連ビジネスの安定化と自動運転及びADASビジネスの市場創造

・既存の国内カーナビ用地図データ提供分野でのシェア維持・拡大による安定収益確保
・自動運転やADAS、コネクティビティの向上に 対応した新規ビジネスでのシェア確保

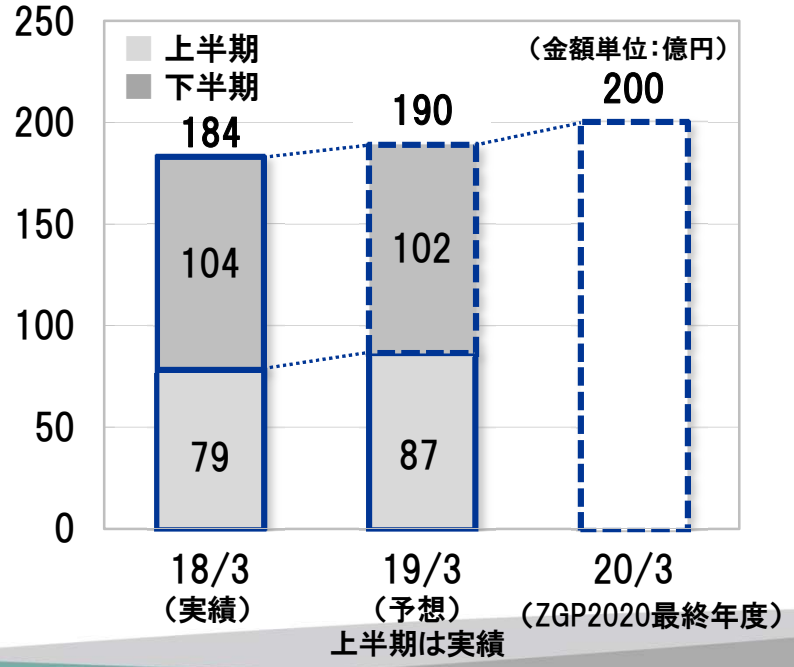
重点施策

・AD/ADASビジネス(高速道路)での量産対応
・AD/ADASビジネス(一般道)の研究開発

既存の国内カーナビ用地図データ提供分野での
シェア維持・拡大

自動運転やADAS、コネクティビティの向上に
対応した新規ビジネスでのシェア確保

＜第2四半期進捗＞
国内カーナビゲーション用データの販売が好調
受託案件の一部前倒しやADAS関連売上計上



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2)事業別売上高と重点施策

【IoT事業】 位置情報ビジネスとIoTソリューションの融合

IoTによって収集されたビックデータを活用する企業との連携による、位置情報サービス、
ソリューションの提供

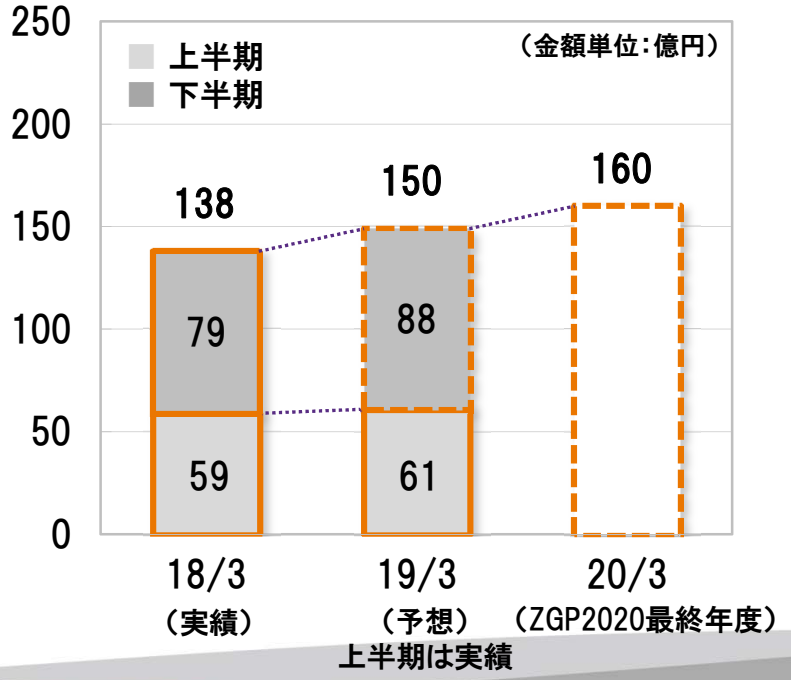
重点施策

・企業(不動産、物流、交通、インフラ、サービスプロバイダー等)との連携によるビジネス拡大
・ドローンビジネス収益化
・自動運転用地図技術を活用したMaaSビジネス創造

ドローンビジネス研究開発・実証実験
・送電設備を空の道として利用した配送の実証実験に成功
・長野県伊那市ドローン物流プロジェクトに参画し、
河川上空域を長距離幹線航路とした物流の仕組みを構築

ブロックチェーン技術を活用した不動産情報共有プラットフォームの商用化に向けた実証プロジェクト
「ADRE 不動産情報コンソーシアム」メンバーとして参画
(Aggregate Data Ledger for Real Estate)

＜第2四半期進捗＞
スマートフォン関連の開発受託が増加



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2)事業別売上高と重点施策

【マーケティングソリューション事業】 マーケティングソリューションビジネス確立と拡大

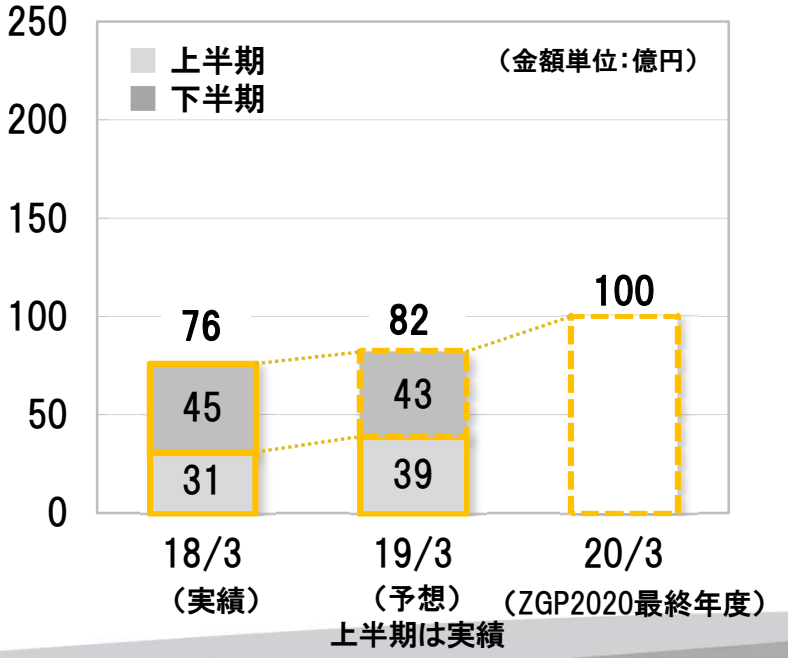
SNSの進化やデジタル革命により、消費マインドが大きく変化するなか、
効果的なマーケティングソリューションを提供

重点施策

グループリソースを活用した、マーケティング
ソリューションビジネスの創造と事業拡大

- マーケティングソリューションビジネスの企画
- 一般印刷ビジネスの収益改善
- ダイレクトプロモーションの収益維持

＜第2四半期進捗＞
前期第3四半期より新たに連結子会社とした
大東ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ(株)の影響で増収



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4. Appendix

1) 2019年3月期 第2四半期決算概要
   設備投資額、減価償却費、研究開発費
   四半期売上高構成比 推移
   営業利益増減要因(第1四半期、第2四半期)
   自己株式取得
2) 2019年3月期 通期業績予想(2018年3月期 決算説明会資料より)
   売上高・利益の推移
   セグメント情報
   設備投資額、減価償却費、研究開発費
   中長期経営計画(ZGP2020) 目標数値
3) 事業トピック

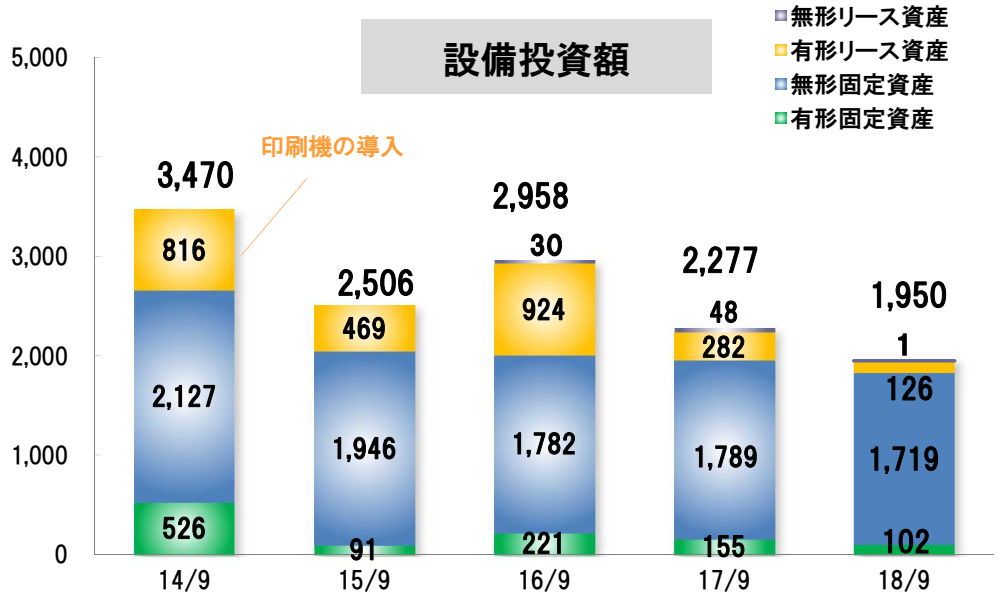
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-1）第2四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

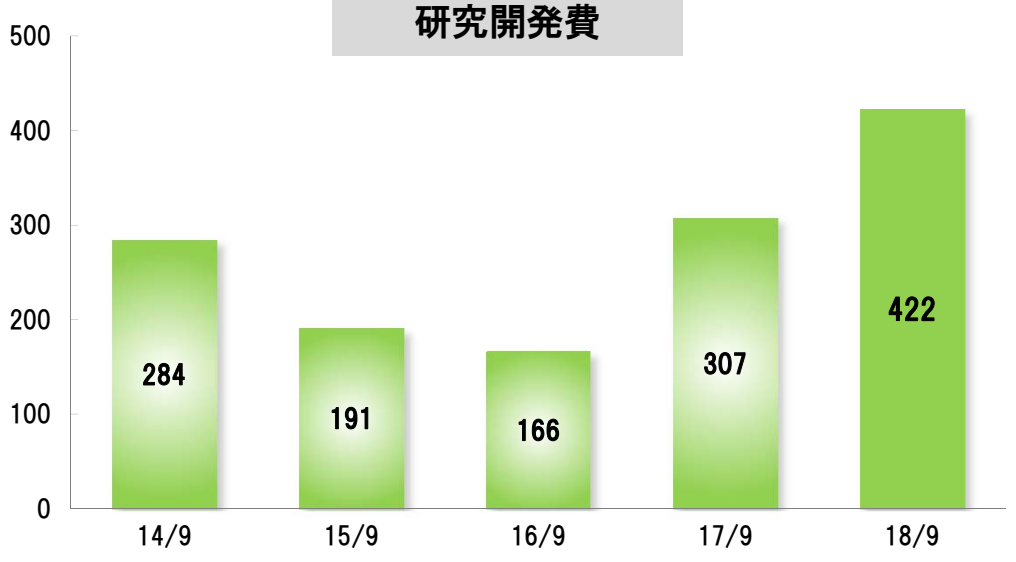
ZENRIN
Maps to the Future

（金額単位：百万円）

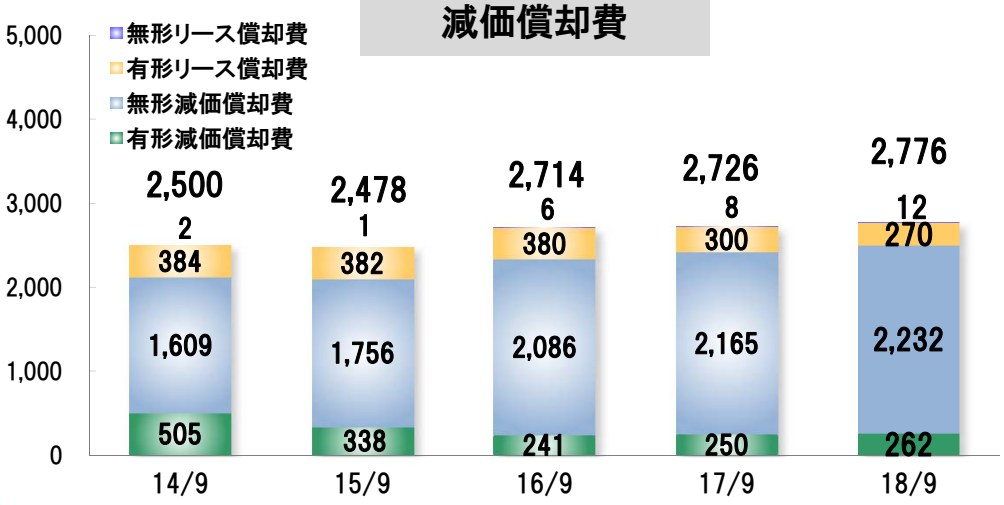
設備投資額



研究開発費

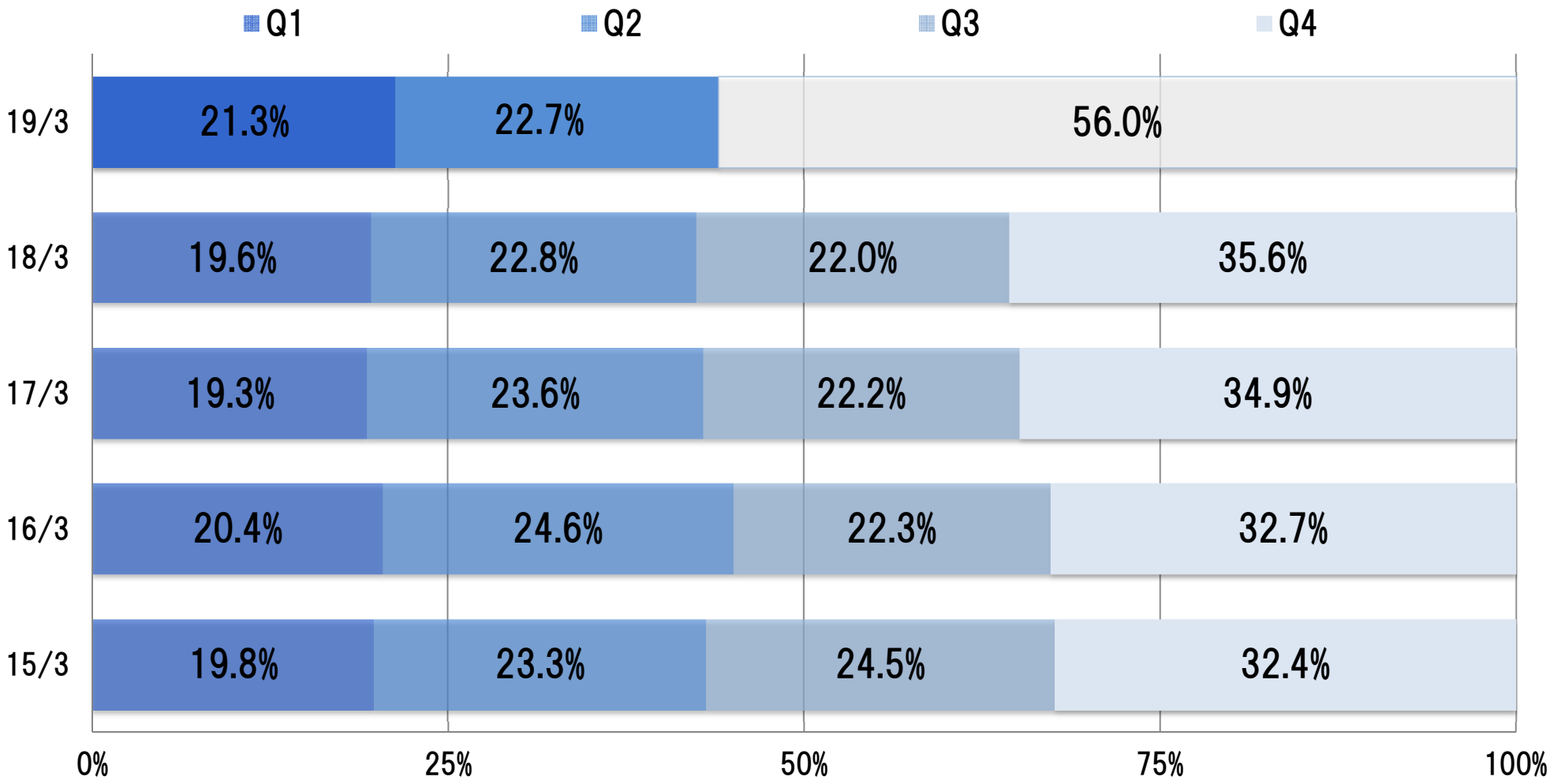


減価償却費



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

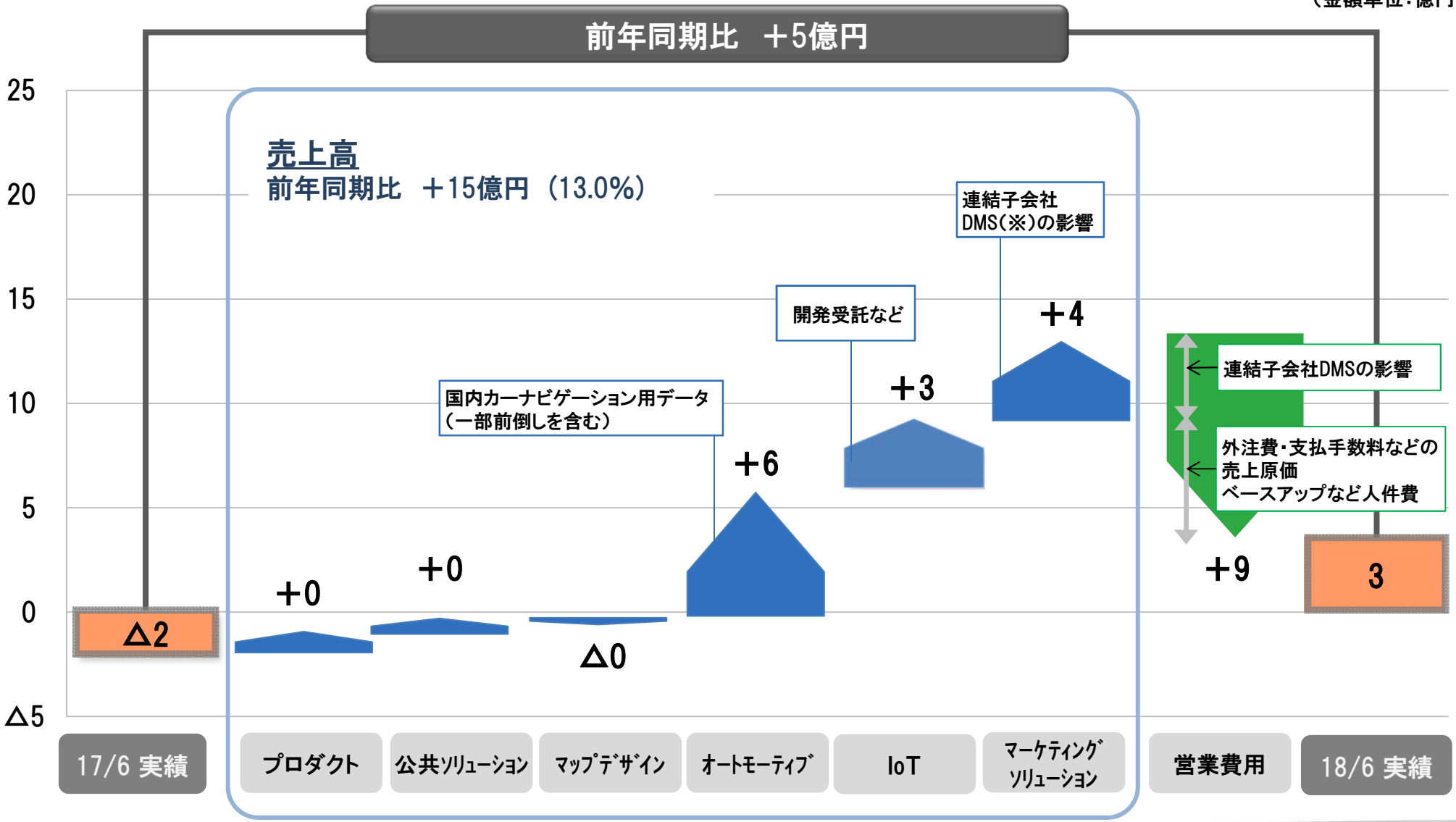
4-1）第2四半期決算概要(四半期売上高構成比 推移)



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-1)営業利益増減要因　第1四半期(4～6月)

（金額単位：億円）

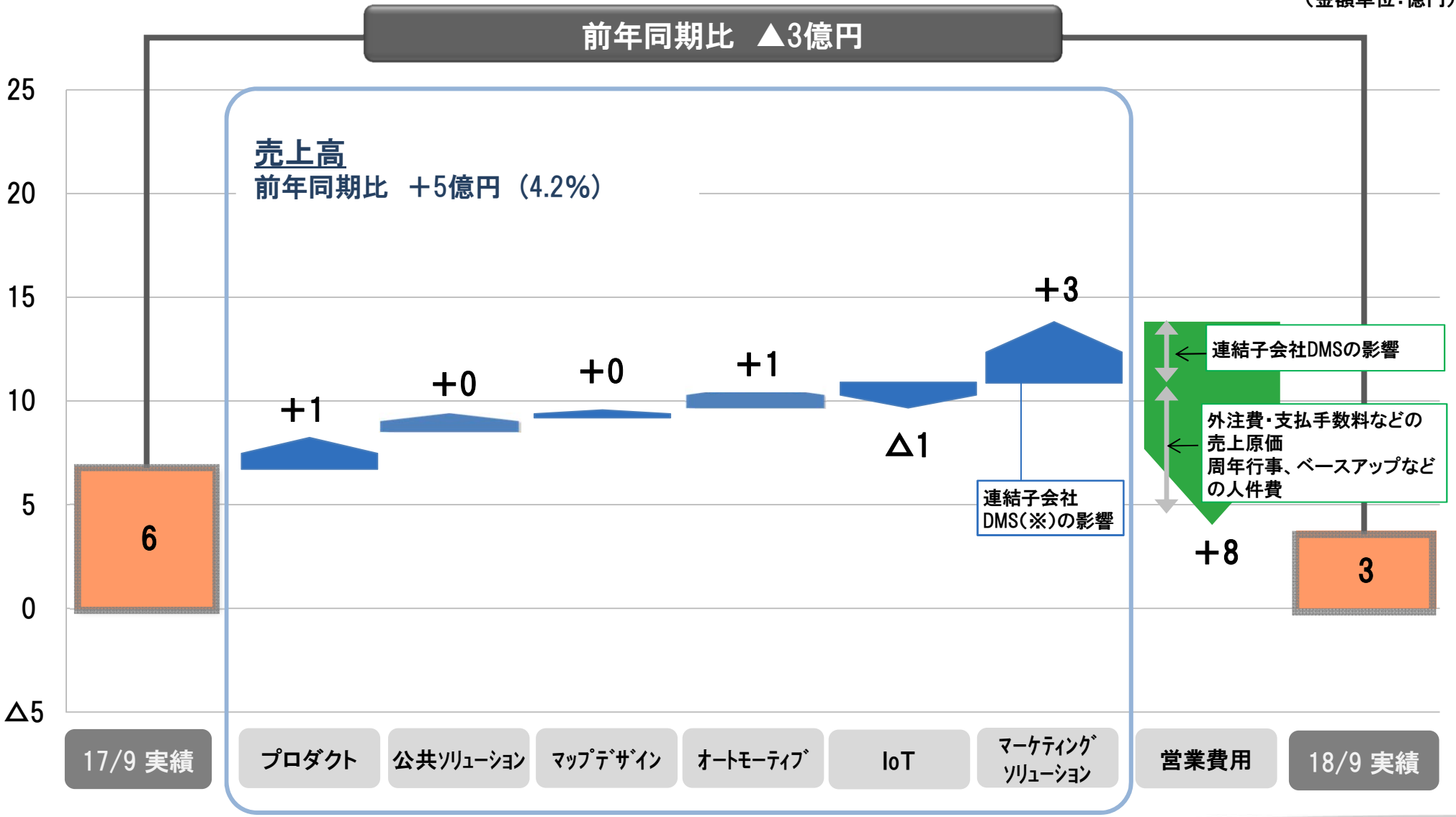


※DMS：大東マーケティングソリューションズ㈱

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-1)営業利益増減要因　第2四半期(7～9月)

（金額単位：億円）



※DMS：大東マーケティングソリューションズ㈱

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-1）自己株式取得

目的 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行と、資本効率の向上及び株主還元の強化

取締役会決議日	決議内容		取得実績
2018年3月7日	取得期間	2018年3月8日～5月31日	2018年3月8日～5月31日
	取得株数	3,450,000株 （80億円）	2,252,700株 （5,143,267,000円）
2018年6月15日	取得期間	2018年6月19日～9月30日	2018年6月19日～9月20日
	取得株数	600,000株 （15億円）	510,900株 （1,499,893,068円）

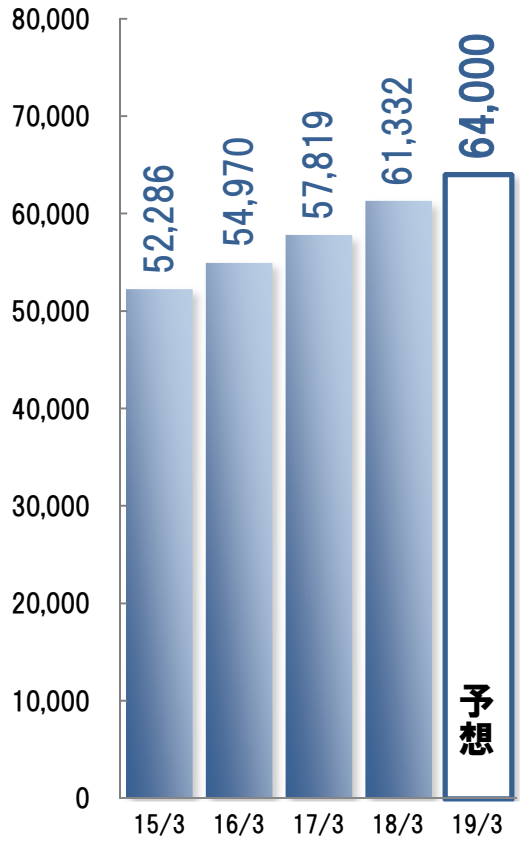
※取得方法は、東京証券取引所における市場買付け （ToSTNeT-3による買付け含む）
※取得期間は約定ベース

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-2）通期業績予想（売上高・利益の推移）

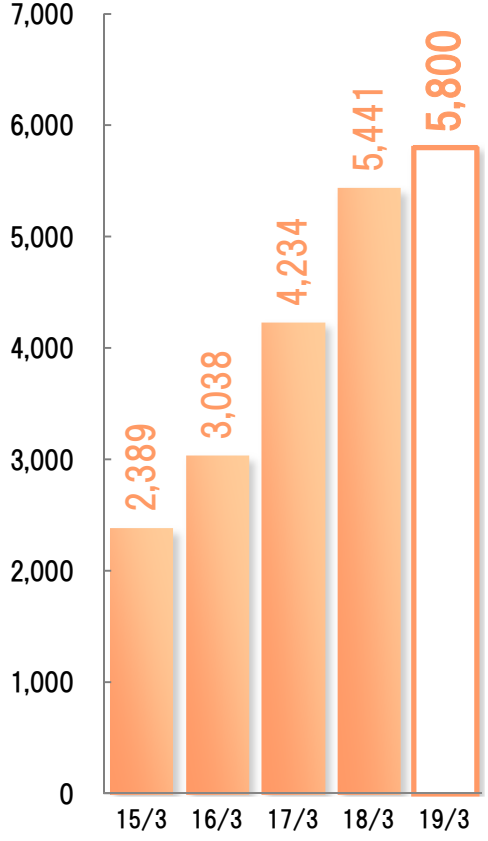
（金額単位：百万円）

売上高



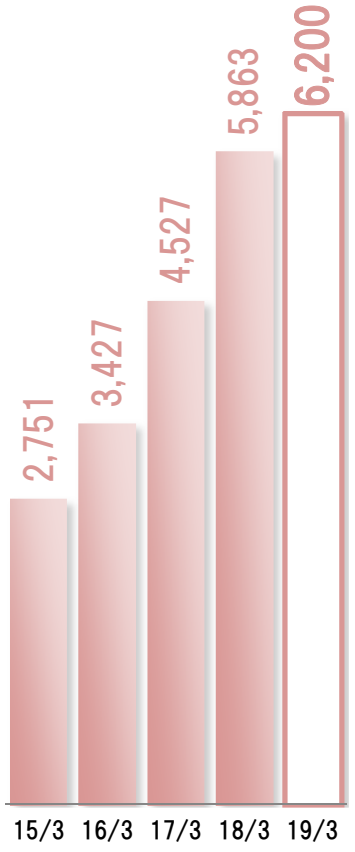
4期連続増収/過去最高

営業利益



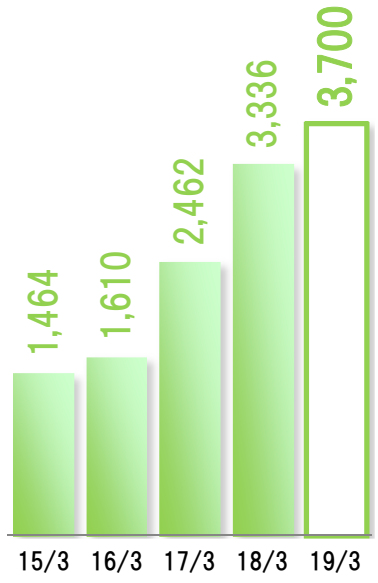
4期連続増益

経常利益



4期連続増益

親会社株主に帰属する当期純利益



5期連続増益

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-2）通期業績予想（セグメント情報）

売上構成比率

83.5%

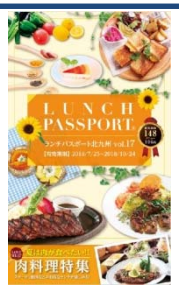
1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供など

6.4%

2. 一般印刷関連事業

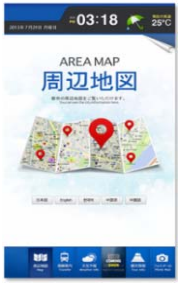
主要品目等：商業印刷



10.1%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ、
マーケティングソリューションの提供



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

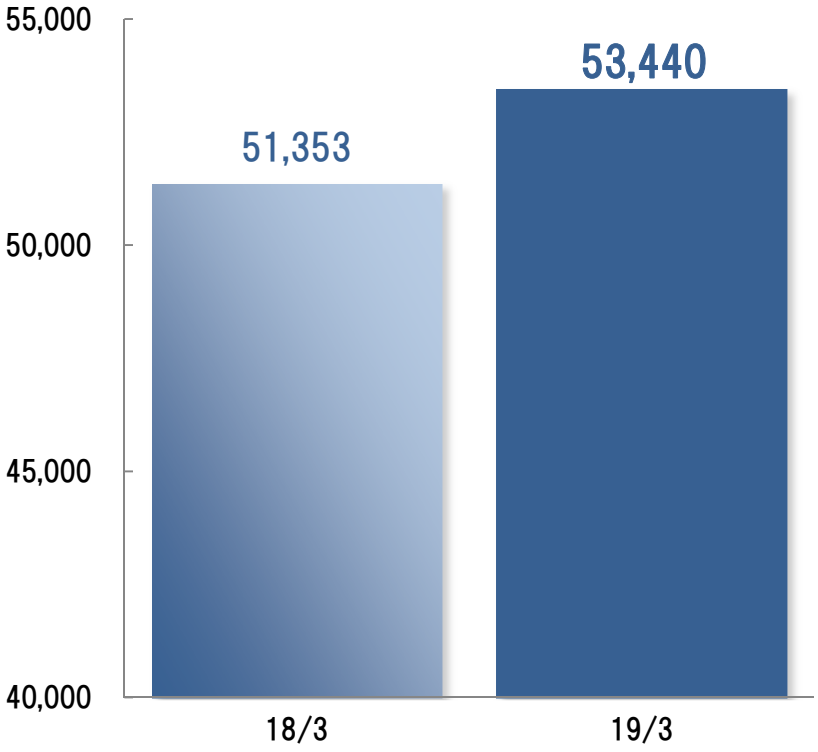
4-2）通期業績予想（セグメント情報）

（金額単位：百万円）

地図データベース関連事業

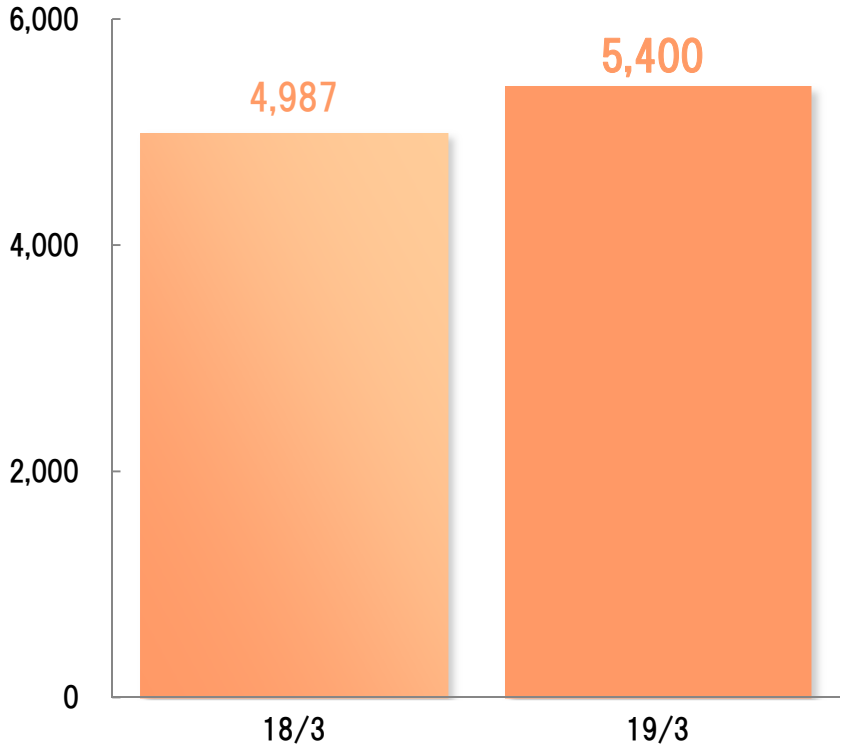
売上高

前期比　2,086増加（+4.1%）



営業利益

412増加（+8.3%）



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

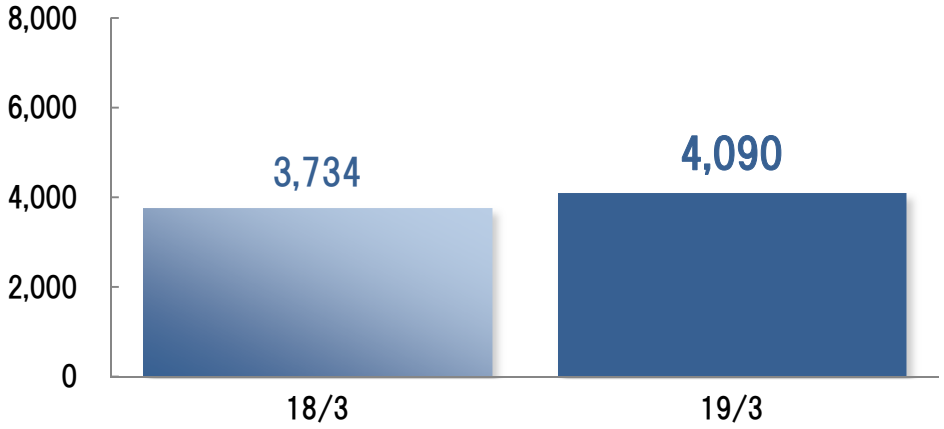
4-2）通期業績予想（セグメント情報）

（金額単位：百万円）

一般印刷関連事業

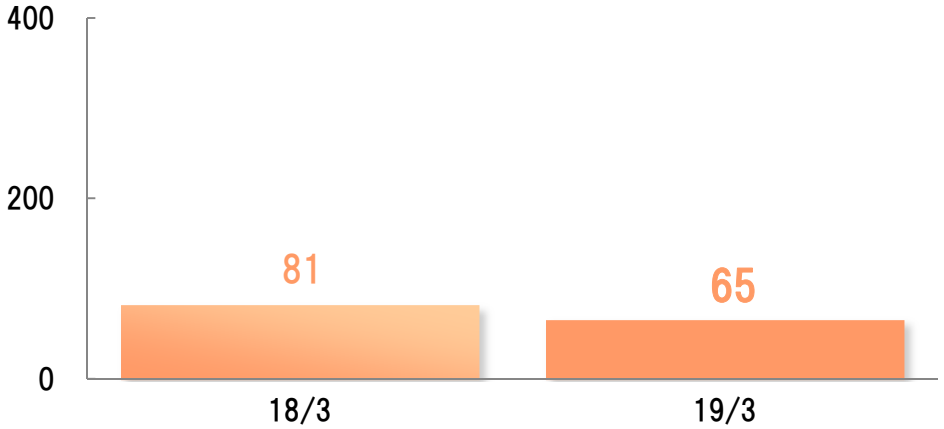
売上高

前期比 355増加（+9.5%）



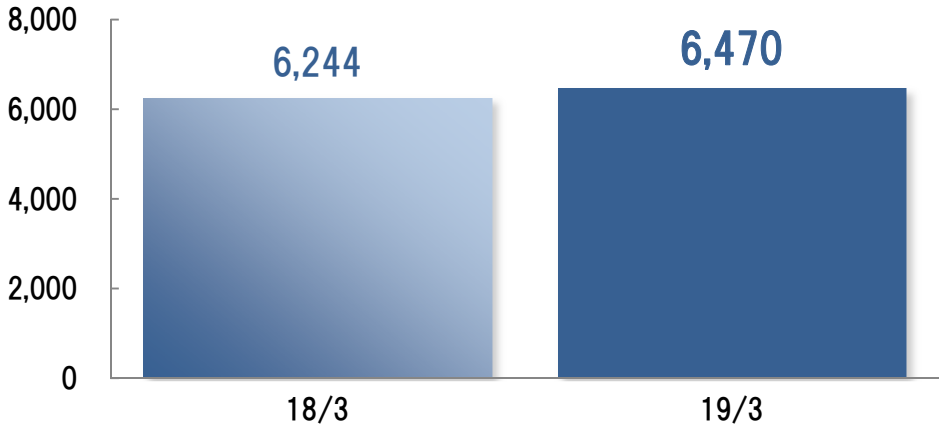
営業利益

15減少（△19.2%）

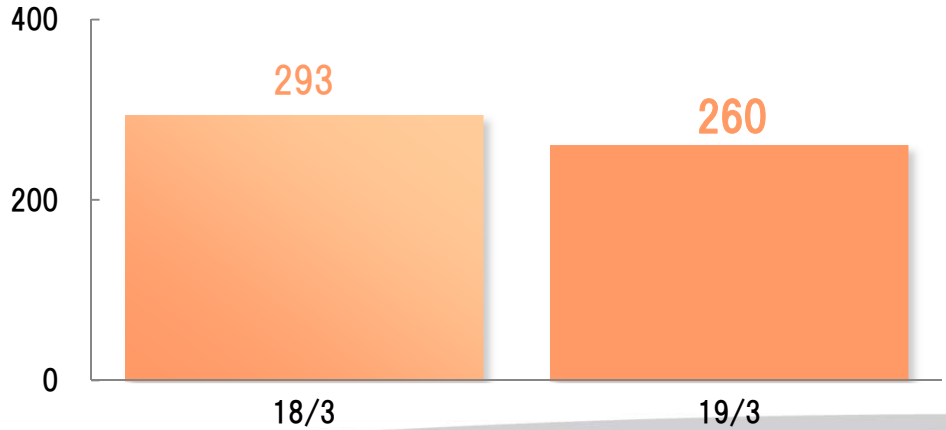


その他

前期比 225増加（+3.6%）



33減少（△11.3%）



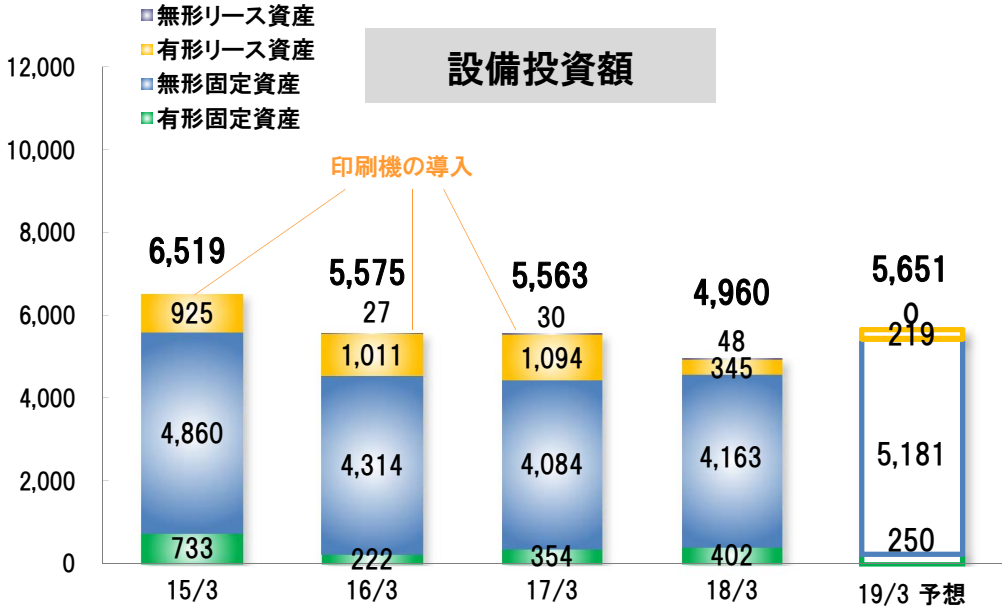
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-2)通期業績予想(設備投資額・減価償却費・研究開発費)

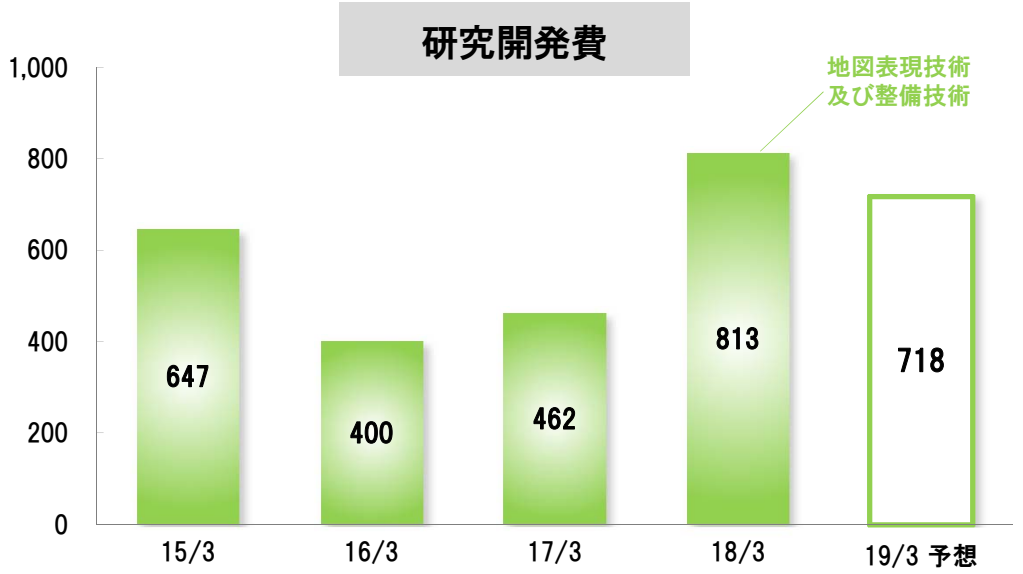
ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:百万円)

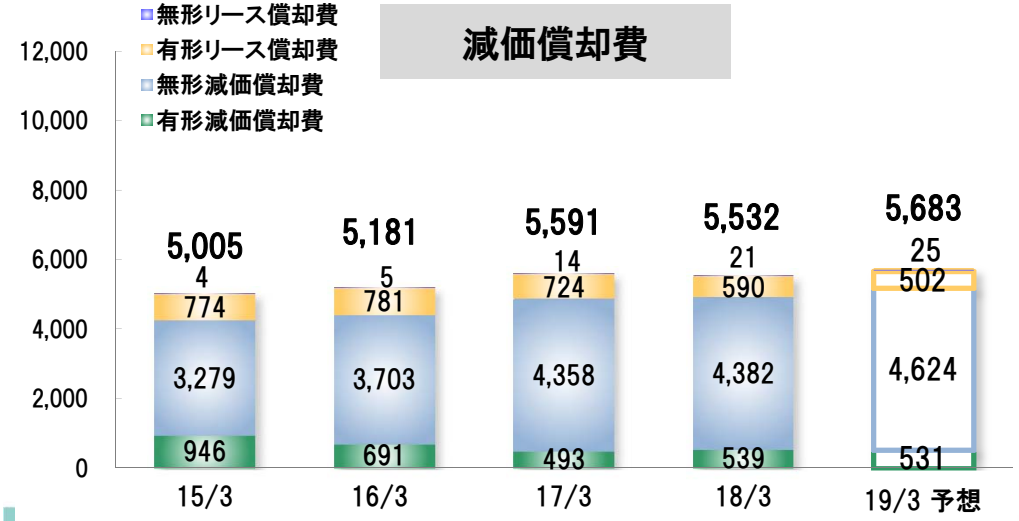
設備投資額



研究開発費



減価償却費



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-2）中長期経営計画（ZGP2020）目標数値

	ZGP2020 実績と目標値				
	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	2020年3月期 目標
連結売上高	549億円	578億円	613億円	640億円	700億円
連結営業利益（利益率）	30億円（5.5%）	42億円（7.3%）	54億円（8.9%）	58億円（9.1%）	100億円（14.2%）
ROE（自己資本当期純利益率）	4.0%	6.0%	8.2%	9.4%	12%以上
DOE（連結株主資本配当率）	3.0%	3.1%	3.2%	3%以上	3%以上

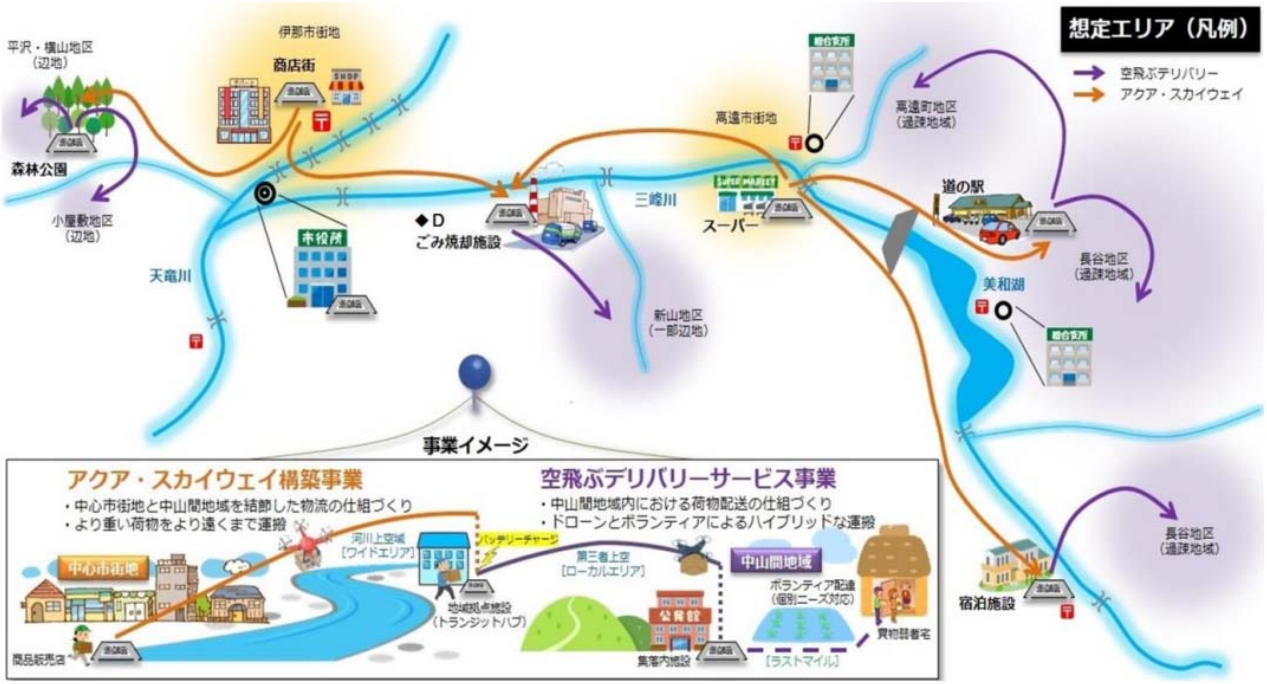
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

■伊那市ドローン物流プロジェクトの事業化に向け、KDDI株式会社と参画 （2018年8月30日）

**日本初(※1)、河川上空を幹線航路とする新たなドローン物流システム構築と
官民協働によるサプライチェーン形成を組み合わせた物流の事業化に向け長野県伊那市が実証をスタート
本プロジェクトの事業化に向け、KDDI 株式会社と当社が、伊那市からの委託を受け、本プロジェクトに参画**

※1：河川上空を幹線航路とするドローンによる新たな物流システム構築と、企業、地域ボランティア等との協働による商品調達・紹介・注文・配達・代金決済のサプライチェーン形成を組み合わせた物流の事業化（2018 年 8 月 30 日時点伊那市調べ）

長野県伊那市は、平成28年度以降国土交通省が伊那市で実施してきた中山間地域での実験を深化させ、国内の行政として初めてドローンによる物流の事業化を目指し、伊那市ドローン物流プロジェクトを開始します。
近年、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、地域における喫緊な課題として、物流や交通機能が脆弱化している地域が発生しており、高齢者を中心に食料品をはじめとする日用品の買物に苦労されている方が増加しています。こうした状況を受け、本プロジェクトにおいて、地域住民や地元企業と連携して、ドローンを用いた新たな物流システムを構築することにより、中山間地域における買い物弱者支援と地域経済の振興を図ります。



IoT

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4-3）事業トピック

■各種イベントへの出展

- 「第86回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2018」に出展 （9/4～9/7）
  地図ステーショナリー「mati mati」など地図柄アイテムを紹介

- 「第25回 ITS世界会議コペンハーゲン2018」に出展（9/17～9/21）
  新たなモビリティ社会に欠かせない地図ソリューション及び、
  循環型プラットフォームを実現する為に、様々なIoT（※）
  デバイスからビッグデータを連携・活用することで
  リアルタイムな地図更新と情報提供を可能にする
  「ゼンリンマップエコシステム」の構想を紹介

- 株式会社ゼンリンデータコムが「ビッグデータ活用展 秋」に出展 （10/24～26）
  ビッグデータの基盤技術から活用ソリューションまで、あらゆる製品・サービスが一堂に出展する
  日本最大級の専門展ゼンリンデータコムブースでは、車・電車・歩行者の各種プローブ位置情報
  ビッグデータを解析してビジネスで役立てる「ロケーション・インテリジェンス」サービスについて、
  実際に業務でどのように利用するのか取り組み事例を交えてご紹介

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン　https://www.zenrin.co.jp
コーポレート本部　経営管理・IR部
IR問い合わせMail：zenrin-ir@zenrin.co.jp